

高槻市内で『防災フェアINたかつき2016』に出展しました！

日時：2016年9月24日（土）10：00～16：30

場所：高槻市生涯学習センター（高槻市）

参加者：高槻市民の方々をはじめ、一般の方

主催：防災フェアINたかつき実行委員会（NPO高槻技術協会/NPO法人 緑からのメッセージ/
関西大学社会安全学部学生チーム/関西そなえ隊）

摂南大学参加者：建築学科学生11名+教員1名（計12名）

今回の見どころ

高槻市主催の防災フェアに出展させて頂きました。出展していたのは私たち摂南大学をはじめとする学生団体や防災に携わる様々な企業、行政の方々です。防災フェアでは各大学による展示ブースだけでなく、約20社による便利な防災グッズの紹介や、高槻市の災害の歴史・対策、防災に対しての重要性を伝えるための体験型ブースなど「備える+防ぐ＝命を守る」をコンセプトとした創意工夫がなされていました。このように子供からご高齢の方々まで幅広い年齢層の人が楽しみながら気軽に最新の防災技術にふれることができるのが今回の見どころです。

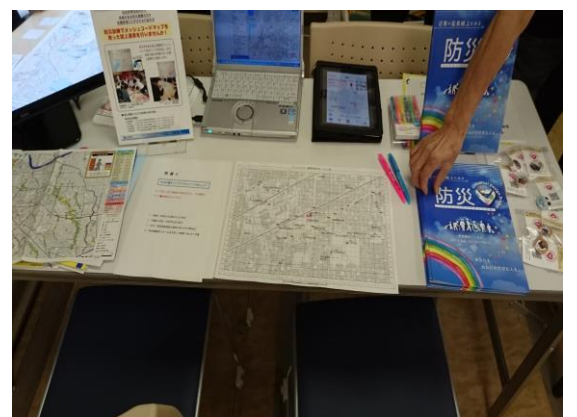
プログラム実施風景



会場には全32団体のブースがこのように隙間なく並んで出展しています。



（株）会社武揚堂さんのご指導のもと、メッシュコードマップ上で自分たちの位置を確認しています。



実際に使ったメッシュコードマップでマーカーに自分たちの位置情報を記入しました。



ドアに貼るだけで地震時のドアの開閉不能を防ぐ「アケル君」という商品です。



地震時にドアが開かない状態を再現しています。本当に開きません。



ドアの側面に「アケル君」を貼り付けるだけで開かないドアが開きました！

プログラム実施結果

ブース展示の中には、紹介したような「貼るだけで地震によるドアの開閉不能を防ぐアケル君」や、コードを使い地図上での位置確認を行う「メッシュコードマップを使った図上演習」など、私たちが知らない防災技術が展示されており実際に手にとることが出来ました。特に「アケル君」は、貼るだけでドアが耐震ドアになる仕組みをもち、一般市民の方々が安価で購入出来るのでとても驚きました。このような「市民の目線に立つ」姿勢を見習い、これからの研究に活かしていきたいです。

高槻市内で『防災フェアINたかつき2016』に出展しました！

日時：2016年9月24日（土）10：00～16：30

場所：高槻市生涯学習センター（高槻市）

参加者：高槻市民の方々をはじめ、一般の方

主催：防災フェアINたかつき実行委員会（NPO高槻技術協会/NPO法人 緑からのメッセージ/
関西大学社会安全学部学生チーム/関西そなえ隊）

摂南大学参加者：建築学科学生11名+教員1名（計12名）

今回の見どころ

今回は、みんなで防災について学べる防災フェア（高槻市主催）に出展させて頂きました。出展団体は、私たち摂南大学、学生団体や企業、行政等41団体です。各団体は一般の方に防災について知ってもらうために工夫しています。例えば、最新の防災グッズを実際に手に取り“触れる”ことができる、また、備蓄食料なら実際に“味わう”ことができるブースもあります。また、防災を考えるきっかけとして遊びながら学べるブースや普段体験出来ないことができるブースもあります。このように市民が防災に対して楽しんで学び災害時に備えることが出来るようになるのがこのフェアの目的です。

プログラム実施風景



各団体の展示ブースの様子。参加者の方々が楽しそうにしています。



AEDも従来のものよりわかりやすくコンパクトになっていました。



災害時ペット用の簡易ケージ。ペットが積まれていくんだなと思いました。



消防のブースでは実際災害時に着用している服を着ることが出来ました。



段ボールベッドとトイレ体験ブースです。しっかりとした作りでした。



ナダレンジャーによる雪崩のメカニズムの説明の様子。楽しくてわかりやすかったです。

プログラム実施結果

防災フェアに出展させて頂き、一般の人に伝えるためには、相手の年齢などにより説明方法を変更するなど、理解してもらうための工夫が必要だと学びました。また、各団体のブースでは、災害時に備えることはもちろん、日常的な利用もできる耐震シートや誰でも簡単に火を消すことができる消火用具などの最新防災グッズを、“おもしろい”や“なんでやろ？”と思いながら体験することができました。今後も各企業の努力でますます便利で機能的な防災グッズが開発されると思うとわくわくしました。今回のフェアで各ブースを体験し、知識が増えた事、各団体の考え方にふれたことは、良い経験となりました。



ナダレンジャーと記念撮影

防災フェアINたかつき実行委員会の皆様、一般参加の皆様、ご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。

2017年2月4日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

Designed by Ryuki Simonouti

高槻市で『防災フェアIN高槻2016』に出展しました！

日時：2016年9月24日（日）（10：00～16：30）

場所：高槻市生涯学習センター

参加者：高槻市民の方々はじめ、一般の方

出展者：建築学科学生11名+教員1名（計12名）

主催：防災フェアINたかつき実行委員会（NPO高槻技術協会/NPO法人 緑からのメッセージ/関西大学社会安全学部学生チーム/関西そなえ隊/（株）武揚堂）

今回の見どころ

大人から子供まで全ての年代の人たちが学び楽しめるイベントとして、高槻市主催の『防災フェアIN高槻2016』が開催されました。出展団体は私たちを含む全41団体で、企業や行政をはじめとした様々なジャンルの団体が参加していました。その中で私たちは少しでも防災への意識を高めてもらえるように防災に関するクイズ、備蓄食料の保存期間と値段をランク分けした資料配布と展示、高さの違うスポンジを揺らし、その違いを地震の揺れに例えた実験などを提供しました。また、池内先生の講演会では多くの人々が聴講されている中、高さの違うスポンジを使って地震の揺れの違いをプレゼンテーションする試みをさせて頂くことができました。

プログラム実施風景



他大学のサークルの皆さんと交流。年が近いこともあり、刺激を受けました。



子供たち相手に、地震時に関する防災クイズを実施中です。



備蓄食料の展示品を、資料を用いて説明しています。



備蓄食料を、保存期間と値段でランク分けして展示しました。



地震の揺れの違いを実験により説明している様子です。「ボブ君」です！



池内先生の講演会では、備蓄食料に関する説明と、ボブ君の実験を説明させて頂きました。

プログラム実施結果

今回のプログラムは、私たち3回生が主体となる建築防災研究室としての初めての活動になりました。準備から後片付けまで終わることができましたが、人前でのプレゼンなど、普段の学生生活ではできない経験をしました。また、専門的な知識や言葉を一般の方々や子ども達相手に分かり易く説明するのは非常に難しく、とても勉強になりました。

参加していただいた高槻市の住民の皆様、子どもたち、ご協力ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。